



2026年5月13日

各 位

会社名 J C R ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 藺田 啓之
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員経営戦略本部長 伊 藤 洋
E-mail : ir-info@jp.jcrpharm.com

(訂正・数値データ訂正)

「2026年3月期 第1四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

JCRファーマ株式会社(代表取締役社長:藺田 啓之)は、2025年7月30日に公表しました「2026年3月期 第1四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」を訂正しましたので、下記の通りお知らせします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

「2026年3月期 第1四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部誤りがありましたので、訂正を行うものです。

2. 訂正の内容(訂正箇所には下線を付して表示しています。)

以 上



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月30日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4552 URL <https://www.jcrpharm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営戦略本部長 (氏名) 伊藤 洋 TEL 0797(32)1995
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,569	5.2	△606	—	△749	—	△546	—
2025年3月期第1四半期	8,145	△24.6	△296	—	△257	—	201	△87.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 388百万円(△11.8%) 2025年3月期第1四半期 441百万円(△75.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△4.48	—
2025年3月期第1四半期	1.61	1.61

(注) 2026年3月期第1四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	107,336	46,913	43.3
2025年3月期	104,849	47,734	45.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 46,487百万円 2025年3月期 47,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,800	14.3	2,600	—	2,400	—	3,000	—	24.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	129,686,308株	2025年3月期	129,686,308株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	7,830,902株	2025年3月期	7,851,002株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	121,844,856株	2025年3月期1Q	124,813,769株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①当期の経営成績

売上高は85億69百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

ムコ多糖症Ⅱ型治療剤「イズカーゴ[®]点滴静注用10mg」は好調に推移しました。遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト[®]」は、2025年4月に薬価改定があり減収となりましたが、製品売上は好調に推移し、契約金収入も増加した結果、前年同期に比べて増収となりました。

また、積極的な研究開発活動の結果、研究開発費は5.4%増加し33億48百万円（前年同期比1億72百万円増）となりました。

これらの結果、6億6百万円の営業損失（前年同期は2億96百万円の営業損失）、7億49百万円の経常損失（前年同期は2億57百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億46百万円（前年同期は2億1百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）を計上しており、いずれも前年同期に比べて減益となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
売上高	8,145	8,569	5.2
営業損失(△)	△296	△606	—
経常損失(△)	△257	△749	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	201	△546	—

②主な売上

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト [®]	4,649	4,495	△3.3
ムコ多糖症Ⅱ型治療剤 イズカーゴ [®] 点滴静注用	1,372	1,562	13.9
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注「JCR」	907	897	△1.2
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	515	122	△76.3
	392	775	97.6
再生医療等製品 テムセル [®] HS注	730	845	15.8
ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」	277	426	53.8
製品計	7,936	8,226	3.6
契約金収入	15	106	582.2

③研究開発の状況

[ライソゾーム病治療薬]

- ・当社では現在、17種類を超えるライソゾーム病治療薬について、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」を適用した新薬の研究開発に重点的に取り組んでおります。
- ・血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤pabinafusp alfa（開発番号：JR-141）については、現在、グローバル臨床第3相試験を実施しております。試験の進捗は順調であり、目標症例数の組入れを達成いたしました。また、新薬承認申請の戦略について協議をするため、2025年6月に米国食品医薬品局（FDA）とミーティングを行いました。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症Ⅰ型治療酵素製剤lepunafusp alfa（開発番号：JR-171）については、現在、日本・ブラジル・米国での13週間の臨床第1/2相試験を完了し、その継続試験を実施しております。また、当該品目については、自社開発ではなくライセンスアウトにより開発を進める方針であり、パートナー候補との導出交渉を進めております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢA型治療酵素製剤（開発番号：JR-441）については、ドイツにて臨床第1/2相試験が進行中であります。また、2024年上半期に予定していた12名の症例登録を完了いたしました。日本で実施中の臨床第1相試験についても、目標症例数の登録を完了し、試験は順調に進捗しております。なお、2022年1月に欧州委員会（EC）より、2023年12月にFDAより、そして2024年12月に厚生労働省より、オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢB型治療酵素製剤（開発番号：JR-446）については、2023年9月に株式会社メディパルホールディングスと、海外における事業化についての実施許諾契約および日本における共同開発・商業化契約を締結いたしました。2024年12月に日本国内において臨床第1/2相試験での治験薬投与が開始されました。また、2025年4月にはFDAより、2025年6月にはECより、オーファンドラッグの指定を受けております。
- ・その他のJ-Brain Cargo[®]を適用したライソゾーム病治療薬であるフコンドーシス治療薬（開発番号：JR-471）については、2022年10月に締結した実施許諾契約に基づき、株式会社メディパルホールディングスに対し、日本を除く全世界における研究・開発、製造および販売などの事業化に関する再実施許諾権付の独占的実施権を許諾いたしました。現在、臨床試験開始に向けて必要な研究等を進めております。

[ヒト成長ホルモン製剤]

- ・長時間作用型遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤redalsomatropin alfa（開発番号：JR-142）については、2024年12月に日本国内において臨床第3相試験での治験薬投与が開始されました。なお、臨床第2相試験の継続試験は引き続き実施中であります。

[基盤技術の創出]

J-Brain Cargo[®]

- ・JCR独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」について、様々なモダリティへの応用可能性を広げる研究を進めるほか、技術の導出に注力しております。2025年7月、血液脳関門通過型アルツハイマー病治療薬の開発を目指して、Acumen Pharmaceuticals社へのJ-Brain Cargo[®]技術導出に関するライセンスのオプション契約を締結いたしました。

JUST-AAV

- ・J-Brain Cargo[®]技術に続く新たな基盤技術の創出に注力しており、その成果のひとつとして、アデノ随伴ウイルスベクターを用いた新しい遺伝子治療技術「JUST-AAV」を創出しました。脳へと効率的にベクターを送達できるだけでなく、肝臓へのベクターの集積を低減することで副作用の軽減も期待され、新たなプラットフォーム技術として開発を進めております。この技術に関連して、2023年12月より株式会社モダリスと本技術を用いた新規遺伝子治療の開発に向けた共同研究を開始しており、2025年1月には、本共同研究において初期の技術コンセプトの検証を達成したため、新たな共同研究契約を締結いたしました。また、2025年7月には、新規遺伝子治療用製品の開発を目的として、アレクシオン・アストラゼネカ・レアディーズ社にJUST-AAV技術を導出するライセンス契約を締結いたしました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,073億36百万円（前連結会計年度末比24億86百万円増）、負債合計は604億22百万円（前連結会計年度末比33億8百万円増）、純資産合計は469億13百万円（前連結会計年度末比8億21百万円減）となりました。

流動資産は、未収入金が減少した一方で、売掛金及び契約資産および棚卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ15億96百万円増加して530億84百万円となりました。固定資産については、繰延税金資産が減少した一方で、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億89百万円増加して542億51百万円となりました。

流動負債は、短期借入金および賞与引当金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ34億10百万円増加して470億93百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末とほぼ同水準の133億29百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金が増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上および配当金の支払があったことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億21百万円減少して469億13百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント低下して43.3%となりました。

当社グループがグローバルで持続的な成長を行うため、機動的かつ安定的に資金調達手段を確保する必要があるため、各金融機関との間で、バックアップラインとして運転資金を確保する事を目的として、総額495億円のコミットメントライン契約を締結しております。

なお、このうち265億円については、新製剤工場の建設に関する資金調達のために締結したものであります。この新製剤工場の建設は、経済産業省「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に採択されており、同事業における補助金を用いて当該建設を行います。当コミットメントライン契約につきましては、補助金受領までの必要資金に充当することを目的としたものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は前年同期比で増収減益となりましたが、これは期初予想通りの傾向であり、2026年3月期の業績予想に関しましては、2025年5月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,196	13,180
売掛金及び契約資産	12,236	13,326
商品及び製品	2,573	2,377
仕掛品	6,412	7,130
原材料及び貯蔵品	13,202	13,639
その他	3,866	3,430
流動資産合計	51,487	53,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,229	12,979
土地	10,587	10,587
建設仮勘定	9,190	9,557
その他(純額)	4,097	3,812
有形固定資産合計	37,104	36,936
無形固定資産		
特許権	1,881	1,812
その他	1,079	1,013
無形固定資産合計	2,960	2,826
投資その他の資産		
投資有価証券	9,629	11,094
その他	3,671	3,398
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	13,295	14,488
固定資産合計	53,361	54,251
資産合計	104,849	107,336
負債の部		
流動負債		
買掛金	590	961
短期借入金	26,055	28,155
未払法人税等	36	67
圧縮未決算特別勘定	11,996	11,996
賞与引当金	1,089	1,756
役員賞与引当金	127	158
その他	3,788	3,998
流動負債合計	43,683	47,093
固定負債		
長期借入金	12,050	11,950
従業員株式給付引当金	120	120
退職給付に係る負債	966	982
その他	294	276
固定負債合計	13,431	13,329
負債合計	57,114	60,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,392	10,392
利益剰余金	<u>31,490</u>	<u>29,723</u>
自己株式	△5,066	△5,055
株主資本合計	<u>45,878</u>	<u>44,122</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	937	1,973
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	393	339
退職給付に係る調整累計額	53	50
その他の包括利益累計額合計	<u>1,387</u>	<u>2,365</u>
新株予約権	75	75
非支配株主持分	392	350
純資産合計	<u>47,734</u>	<u>46,913</u>
負債純資産合計	<u>104,849</u>	<u>107,336</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,145	8,569
売上原価	2,073	2,357
売上総利益	6,072	6,212
販売費及び一般管理費	6,368	6,818
営業損失(△)	△296	△606
営業外収益		
受取利息	27	9
受取配当金	17	20
為替差益	435	—
受取補償金	—	33
その他	24	10
営業外収益合計	505	74
営業外費用		
持分法による投資損失	200	45
支払利息	26	79
支払手数料	17	16
減価償却費	214	38
為替差損	—	27
その他	6	10
営業外費用合計	466	218
経常損失(△)	△257	△749
特別利益		
契約解約益	627	—
特別利益合計	627	—
特別損失		
固定資産処分損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	369	△751
法人税、住民税及び事業税	230	2
法人税等調整額	△65	△182
法人税等合計	164	△180
四半期純利益又は四半期純損失(△)	204	△570
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	201	△546

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	204	△570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	1,035
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	98	△72
退職給付に係る調整額	△6	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	151	—
その他の包括利益合計	236	959
四半期包括利益	441	388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418	431
非支配株主に係る四半期包括利益	22	△42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	826百万円	738百万円